SEAGULL 通信

令和元年９月５日発行

No. 7

"security action for guarding technical intelligence"

情報の持ち出し等の不正が起きにくい環境づくり・・・

情報流出のおそれがある会社の想定

株式会社しーがる通信（仮名）では、多くの秘密情報を扱っています。ですが、その取扱方法についてのルールが決められておらず、PCログによる管理もされていなかったため、業務が多忙の際には、社外秘のデータを安易に持ち帰り、自宅で仕事をする従業員もいます・・・。

想定が招く事態を防ぐには、社内において、

- **秘密情報を明確に区別し、その取扱いにはルールを設ける**
  - ⇒ 秘密情報とは知らなかった！とは言わせない
- **秘密情報を適正に管理する**
  - ⇒ 不正をすればすぐにバレてしまう！という環境づくり

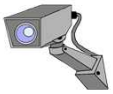
情報管理を従業員に周知させるなどの心理的抑制による対策が効果的です。

アドバイス!!

重要

「心理的抑制による対策」について

漏えい・不正が見つかりやすい環境をつくる



○秘密情報の保管場所、机のレイアウト等に工夫し、防犯カメラを設置する
誰かに見られるかもしれないという意識が働くことで、不正が起きにくい環境となります。

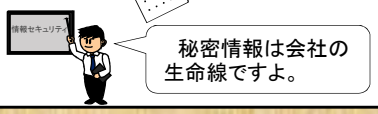
○PC等のアクセスログを不定期チェックすることを周知する
チェック機能が働いていることを社内に周知することで、不正の抑止になります。

情報漏えいに関する意識を高める

○秘密情報であることの明確な表示
どれが秘密情報なのかひと目でわかるように表示する。マル秘・社外秘の表示等。

○秘密保持契約の締結
適切なタイミング（入社時、プロジェクト開始時、退職時等）で実施する。

○ルールの策定と周知、情報セキュリティ教育の実施
情報の取扱方法について、ルール化することが重要です。



しーがる川柳

五時過ぎた　本腰入れて　内職だ

SEAGULL事務局

しーがる川柳公募中!!
SEAGULL通信で紹介させていただきます。

▼ SEAGULL事務局（外事課内） ▼

〒231-8403　横浜市中区海岸通２丁目４番　神奈川県警察本部

相談窓口　Email：seagull@police.pref.kanagawa.jp